



豊田尚一を紹介する書状《藍野家イ2083》



豊田尚一の写真代領収証《藍野家才144》



豊田尚一の撮影写真  
 左：県議会代議士  
 《幹家ヌ-2-23》  
 明治9(1876)年  
 中：女性肖像  
 《高橋家キ115》  
 明治18(1885)年  
 右：男性肖像  
 《志賀家ウ226》  
 明治24(1891)年  
 台紙や購入者のメモ書等により、年代や撮影者がわかります。

豊田写真館以降、県内に写真館が次々に開業します。県内2番目、明治12(1879)年に館山市で開業した成瀬写真館の成瀬又男は下岡蓮杖に師事したということです。このほか、明治20年代中までに、佐倉に木川写真館、大網に小川写真館、銚子に中村写真館、八日市場に佐藤写真館などが開業したと思われれます。その後、これらの写真館で修業した人達が続々と独立し、明治後半期以降はその数が急速に増えていくことになり、競争も激しくなっていたようです。

明治37(1904)年には、八日市場の佐藤写真館で修業した女性写真師・河野みきが茂原で河野写真館を開業しました。女性の写真師は千葉県内ではもちろん最初ですが、全国的に見ても、当時は大変珍しかったと思われる。彼女の努力で経営は軌道に乗り、その写真館は現在も続いています。

※本項は、『千葉県で最初の「豊田写真館」の歩み』平成24(2012)年、『千葉県の写真事始～明治期に活躍した写真師たち～』平成15(2003)年 いずれも江波戸昌美著(私家版)を参考にして作成しました。



成瀬写真館の歴代店主と社屋  
 《成瀬写真館提供》



河野みき肖像  
 《河野写真館提供》



河野写真館開業広告(明治37(1904)年)  
 《河野写真館提供》